公益財団法人
京都府国際センター
Kyoto Prefectural International Center

NEWS

Vol.94
2021年 秋号

＜特集＞ 災害時の情報発信
～安全・安心な「多文化共生」のまちづくりのために～

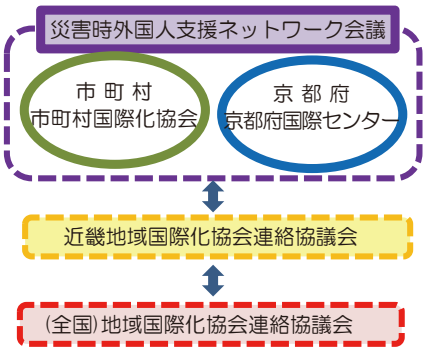
災害時に日本に暮らす外国人住民は、日本語を十分に理解できず情報を得られない「言葉の壁」と、避難行動や避難所の存在を知らないなどの「文化の壁」により必要な支援を受けられないおそれがあります。
国籍や民族が多様化している京都府において、外国人住民が災害時に適切な行動をとれるよう、災害情報や防災知識を正しく伝えることは、地域社会において災害という難局を力を合わせて乗り越えるために欠かせない取り組みです。

京都府国際センターでは災害時に外国人住民が直面するこれらの壁を取り除き、速やかに安心を届けられるよう、支援体制の構築に努めています。今号では、当センターと府内市町村での取り組みをご紹介します。

京都府国際センターの取り組み

①支援体制づくり

府内の外国人住民に対する災害時支援を円滑に行うため、「京都府災害多言語支援中核センターの設置・運営に関する協定」を京都府と締結しています。
また、市町村、市町村国際化協会等と定期的に意見交換の場を設け、「顔の見える」関係づくりに努めるとともに、近畿各府県・政令市の地域国際化協会とも協定を結ぶなど関係機関との連携も図っています。



②支援者育成

「災害時外国人サポーター」を随時募集するとともに、スキルアップ研修等を実施しています。
また、地域における支援者育成のため市町村・市町村国際化協会等と研修・訓練を実施しています。

③防災研修・訓練

市町村や大学、企業、外国人コミュニティ等と共同して、地域の防災訓練や留学生、実習生向けの防災講座を実施し、外国人住民の防災意識の啓発に努めています。

災害時に最も重要になるのは**「住民同士のつながり」**です。日頃からの声掛けが災害時には必ず役立ちます。
地域で外国人住民を見かけたら、まず挨拶から始めてみてください。
その一言が、異なる文化を受け入れるための一つのステップになり、**地域での防災体制の強化**にもつながっていきます。

目次

■＜特集＞災害時の情報発信 ……1～3
■団体紹介「やさしい日本語」有志の会 ……3
■JICA京都デスクの取り組み ……4
■京都府国際センターからのお知らせ ……4

府内市町村の取り組み

多言語防災アプリ　八幡市、福知山市、京丹波町

気象、災害、避難所などの情報をリアルタイムで受け取ることができ、避難行動にも役立ちます。

八幡市防災アプリ　2021 年 4 月～

英語、中国語（簡体・繁体）、韓国語

●ポイント

災害の危険度を5段階の色で表示し、**外国人住民にも避難情報が直感的に捉えやすい**よう工夫。「やさしい日本語モード」への切り替えも可能。

市担当者

直感的に危険かどうかがわかる工夫

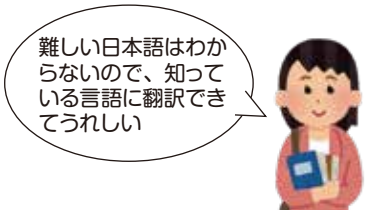
「八幡市防災アプリ」
www.city.yawata.kyoto.jp/0000006923.html

福知山市防災　2021 年 5 月～

英語、中国語（簡体・繁体）、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、フィリピン語

●ポイント

外国人雇用企業に市の職員が出向き、直接ダウンロードのお手伝いや使い方を説明。



外国人住民

外国人住民

ベトナム語に翻訳された防災行政無線の情報

「福知山市防災」
www.city.fukuchiyama.lg.jp/site/bousai/35037.html

ハザードマップ多言語化

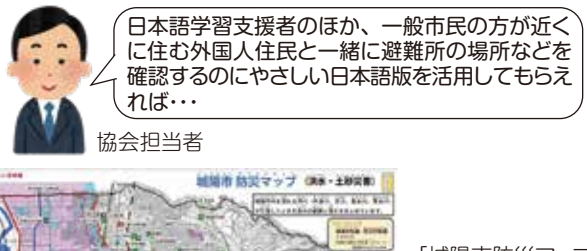
城陽市、精華町、久御山町など

城陽市防災ブック　やさしい日本語、英語、中国語、ベトナム語

市が作成した「城陽市防災ブック」を、城陽市国際交流協会が外国人住民向けに翻訳。
ハザードマップはその冊子の最後に掲載。

●ポイント

翻訳しやすいよう、**元の日本語原稿をわかりやすくしてから翻訳**。災害時の難しい専門用語などの説明や、多言語情報のサイトを追加。



協会担当者

「城陽市防災マップ（洪水・土砂災害）」やさしい日本語版

協会 HP からダウンロードできます。
www.jiea.jp/disaster_prevention_guide-2020.html

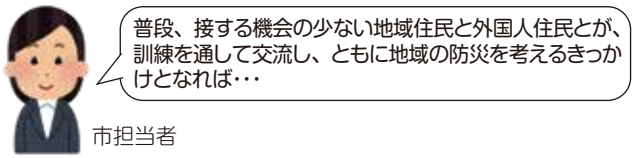
外国人向け防災研修・避難訓練

亀岡市、城陽市

亀岡市　2021 年度～

●ポイント

2年に1回行っている**総合防災訓練にあわせて**、外国人住民向けの防災研修（通訳つき）を企画。亀岡国際交流協会、当センターと連携し、防災講座、避難訓練、防災体験や展示ブースの見学などの体験学習を実施。



市担当者

やさしい日本語で作成されたポスターの一部

支援者の育成・住民への意識啓発

舞鶴市「やさしい日本語」講習会　2020 年度～

●ポイント

外国人住民を行政だけでなく、一般市民も含めた**市全体で受け入れる体制を整えるため**、舞鶴国際交流協会が中心となって「やさしい日本語」の普及活動に取り組んでいます。

ふだん何気なく使っている言葉をわかりやすい日本語にするのが難しかったが、実際作ってみる中でたくさんの学びがあった

講習会参加者

外国人住民との交流の場である日本語教室での活動にも生かされており、今後に向けて市や協会の広報資料への「やさしい日本語」の活用も検討されています。

うがいの仕方について「やさしい日本語」の表示づくりに挑戦する参加者

【京都府の国際化の現状】　出典：京都府国際課調査 (2020 年 12 月末現在)

●京都府の外国人住民数 61,139 人

新型コロナウイルスの影響で留学生や技能実習生などが入国できなかったこと等により、**7年ぶりに減少**。京都府の人口の**2.4%**を占めています。

●156 の国・地域

多国籍、多民族化が進み、言語や文化も多様化しています。韓国・朝鮮、中国、ベトナム、フィリピンで全体の約80%を占めており、特に**ベトナム国籍がこの10年で20倍**に急増しています。

●定住化の傾向

特別永住者は減少傾向にある一方、身分・地位に基づく在留資格（永住者、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等、定住者）は増加傾向にあります。特に**永住者はこの10年で1.5倍に増加**し、外国人住民の定住化の傾向がうかがえます。

団体紹介　「やさしい日本語」有志の会

広がる「やさしい日本語」の取り組み

災害が頻発する日本。1995 年の阪神淡路大震災をきっかけに、災害時に外国人にも正確な情報を届けるために弘前大学社会言語学研究室の佐藤和之教授が中心となって開発されたのが「やさしい日本語」です。
今では多文化共生施策として、国や都道府県、市町村といった行政、福祉や教育の現場でも「やさしい日本語」が注目され、様々な情報を多言語+「やさしい日本語」で発信する地域が増えています。

有志の会では「やさしい日本語」を普及する講習を各地で行っていますが、「やさしい日本語」を使った防災講座にも力を入れています。
災害時には自助・共助・公助が重要といわれます。
外国人住民に防災知識を得ていただくだけでなく、地域の人たちと防災を通して交流を深め、その地域の防災力向上を図れる防災講座です。

またコロナ禍の現在、外国人住民が少しでも安心してワクチン接種ができるよう、接種会場での会話集（「やさしい日本語」付き）を『医療 ×「やさしい日本語」研究会』から提供いただきました。地域の日本語教室でぜひロールプレイを行ってくださいと Facebook などで呼びかけています。

「ワクチン接種会場での言葉かけフレーズ集」より

【入口で】

何時のご予約ですか?
予約はありますか? 何時ですか?

【受付で】

体温を測定していただけますか?ピッと音が鳴りますので、鳴ったらご確認のうえ記録をお願いします。
体温を測ります。音がしたら体温計（持ちながら）を見てください。体温をそこに書いてください。

ワクチン接種会場でのフレーズ集は、
医療 ×「やさしい日本語」研究会の HP から
ダウンロードできます。
easy-japanese.info/covid19

「やさしい日本語」有志の会の詳しい活動内容については、以下をご覧ください。

HP　　Facebook

JICA京都デスクの取り組み

こんにちは！JICA京都デスク畑中です。秋の風吹く気持ちの良い季節ですね。

「JICA海外協力隊」をご存知でしょうか？長期間外国で生活しながらボランティア活動ができる制度で、私もパラグアイで協力隊を経験しました。現地では、初め言葉が分からず孤独を感じ、バスにもろくに乗れなくて自分をとても無力に感じました。それでも少しずつ言葉を身につけ、一緒に飲食をして仲良くなっていくと、パラグアイの人々は、本当に私によくしてくれました。外国人の私に歩み寄ってくれる人の存在は心の支えでした。

日本には協力隊経験者が4万5千人以上いますが、彼らの「外国人としての生活経験」が、今、日本で生活されている諸外国の人々の立場や気持ちを理解するための一助になると考えています。

JICA京都デスクは京都府国際センターと共催で「多文化共生セミナーin Kyoto」を企画し、協力隊経験者を始めとする「海外生活経験者」の方が地域の多文化共生に貢献できるよう取り組みを進めています。

JICA関西では、他にも多文化共生やSDGsに関するイベントが各種企画されています。ご興味のある方は、JICA関西のHP「イベント情報」をご覧ください。
www.jica.go.jp/kansai/event/index.html

JICA京都デスク（京都府国際センター内）
国際協力推進員　畑中 遥
TEL: 075-365-7786
FAX: 075-342-5050
E-mail:jicadpd-desk-kyotofu@jica.go.jp

京都府国際センターからのお知らせ

●京都府多言語生活相談

今年度から対応言語が **21言語** に増えました。
生活に関するお困りごとがありましたらお気軽にご相談ください。
外国人住民、外国人住民と関わりのある府民の方など、どなたでもご利用可能です。

【専用電話】**075-343-9666**（通話料はかかります）
【受付時間】**10:00-17:00**
（第2･第4火曜日、祝日、年末年始を除く）
【メール】soudan@kpic.or.jp（日本語･英語のみ）
www.kpic.or.jp/soudan/tagengo.html

●ビザ相談（毎月第4日曜日）

在留資格の変更や更新について、
行政書士に相談できます。
www.kpic.or.jp/soudan/visa.html

●法律相談（隔月第2日曜日）

国際結婚･離婚、労働など法的手続きについて、
弁護士に相談できます。
www.kpic.or.jp/soudan/law.html

【時間】13:00-16:00（1人30分）
【場所】当センタースペースB
または オンライン（Zoom）　**※無料（要予約）**

～賛助会員を募集しています～

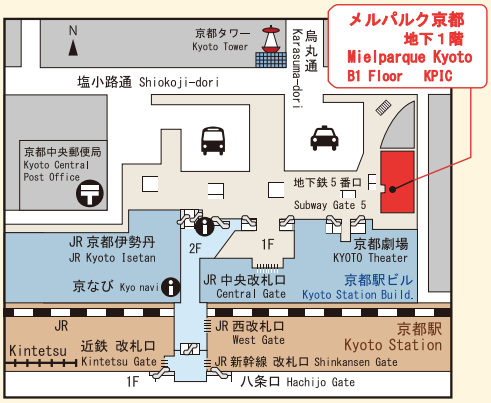
当センターが実施する様々な地域国際化事業や団体運営の財源に充てるため、趣旨にご賛同いただける皆さまを対象に賛助会員を募集しています。

【会　　費】個人会員／1口年額　3,000円（1口以上）
団体会員／1口年額 10,000円（1口以上）
【入会方法】･受付窓口で直接お申し込み
･電話、メール等で入会申込書をご請求の上、お申し込み
【特　　典】･当センター内スペース（有料）を会員料金でご利用いただけます。
･当センター各種講座等に優先してご参加いただけます。
･他団体との提携による特典をご用意しています。
詳しくはHPをご覧ください。www.kpic.or.jp/about/sanjo.html

パスポート写真撮影のご案内

収益事業として、パスポート用の写真撮影を行っています。

【場　　所】京都駅ビル8階
（京都府旅券事務所の隣に併設）
【営業時間】月曜日～金曜日　9:00～16:30
（旅券申請受付時間と同じです）
【撮影料金(税込)】
2枚 1,430円／4枚 1,980円
【お問い合わせ】
TEL 075-342-5002



公益財団法人京都府国際センター

〒600-8216 京都市下京区東塩小路町676-13 メルパルク京都B1F（JR京都駅前 北口東側（京都劇場側））

Tel : 075-342-5000

Fax : 075-342-5050　E-mail: main@kpic.or.jp
www.kpic.or.jp/
facebook www.facebook.com/kpic.kyoto
開館時間／午前10時～午後6時
休館日／毎月第2・第4火曜日、祝日、年末年始（12/29 ～ 1/3）

公益財団法人京都府国際センター NEWS　Autumn 2021 秋号 第94号
編集・発行／公益財団法人 京都府国際センター　Kyoto Prefectural International Center

PRINTED WITH SOY INK